

かぬまでちょうどいい暮らし



現在、地方暮らし、田舎暮らしがライフスタイルの1つとして、世代を問わず関心を集めています。
人は何を求めて地方に移住するのか。
その答えを探するため、実際に首都圏から鹿沼に移住された皆さんにインタビューしました。

鹿沼営業戦略課シティプロモーション係
☎(63)0154

いちご新規就農研修生として鹿沼市に移住した坂本さん(左 さいたま市)・仁木さん(右 川崎市)

いちご農家×移住 **坂本** **成聴** さん **仁木** **たけし** さん

■いちご農家を目指したきっかけは？

仁木さん(以下、仁) 都内に勤めていましたが、このまま会社員で終わることに漠然と疑問を感じていました。以前から、夫婦で一緒に屋外で行える仕事、食に関わる仕事に就きたいと考えていて、思い切って農業にチャレンジしようと思った。いちごは、観光農園化や六次産業化など、夢が広がる作物だと思えます。

坂本さん(以下、坂) 実は、兄も過去に他県で就農研修を受けましたが、就農までこぎつけることができず、断念しました。しかし、私も家族みんなのできる仕事は農業だという思いがあり、次は自分がチャレンジしようと思った。

■鹿沼を移住先に選んだ理由は？

仁 決め手は、新規就農の研修制度やそのアフターフォローが、他の自治体と比べても充実しているところですね。
坂 他県も見学しましたが、いちごの新規就農に力を入れている鹿沼にとっても魅力を感じました。

■鹿沼での暮らしはどうですか？

仁 普段の何気ないところで四季の移ろいを感じる事ができる、すてきな場所です。趣味でトレッキングをするのですが、自然豊かなエリアが市街地の近くにあることも、魅力だと思います。

坂 思っていたよりずっと便利な街です。一方で、職場の近くは田園風景が広がっていて、そのどかさに毎日癒やされながら暮らしています。道端で小学生や中学生が元気にあいさつをしてくれることもあり、地方ならではの人の温かさを感じます。

■どんな暮らしやどんな仕事をしたいですか？

仁 妻とともに、農業を通じて、地域に溶け込んでいきたいら、と思います。場所にとらわれることなく、都会にないものを地方から発信していきたい。そんな生活を実現したいです。

坂 人とのつながりをつくっていくことが大切だと思うので、地域の行事などに積極的に参加していきたいです。農業は、家族で携わることがができる仕事なので、家族で協力し合って、鹿沼を盛り上げられるような農家を目指したいです。



「出会いの森いちご園」で定植作業を行う2人

移住相談ワンストップ窓口

鹿沼営業戦略課シティプロモーション係(市役所本館3階)では、移住に関わる住まいのことや仕事のことなど、市外からの移住を検討している人の相談を受け付けています。

移住支援サイト
「かぬまでちょうどいい暮らし」▶





世田谷区から鹿沼市へUターンした中山さん夫婦 夫:創さん(左)・妻:良美さん(右)

■鹿沼に移住した
きっかけは？

夫・創さん(以下、創) 東京で会社員として働きながら、漠然とゆくゆくは地方に移り住みたいと考えていました。妻が妊娠したことをきっかけに、本格的に移住を検討し始めました。

妻・良美さん(以下、良) 東日本大震災をきっかけに得た、「生き抜く力は自然から学ぶ」という教訓が、自然豊かな山間部への移住を後押ししました。自然の中で学ばせるといふ理想の子育ても、鹿沼なら叶えられると思いました。

■鹿沼ではどんな暮らしをしていますか？

創 現在は上久我に住んでおり、住まいは築80年の空き家をリノベーションしました。以前から南インド料理の店を開きたいと思っていたので、移住後にアルバイトをしながら準備を進めました。トマト農家や造園業など、いろいろな経験をしたことで人とのつながりが生まれ、そのおかげで地域のマルシェに出店し、こつして間借りして店を開くことができました。

良 自然に触れさせながら、自由にのびのびと子育てができています。移住してすぐは不安でしたが、親子ともども地域の人に気にかけてもらい、見守ってもらいながら、安心して暮らしています。

■移住して良かったことや大変だったことは？

創 会社勤めだったときは、ボランティアなどの自分がやりたいことを思うようにできないもどかしさがありました。今は自分で決断して活動できることに幸せを感じています。自宅のリノベーションは試行錯誤の連続で、近所の人に助けてもらいながら完成させました。とても感謝しています。

良 上久我は自然豊かでありながら、市街地までもそこまで遠くないので、とても暮らしやすいです。自宅のすぐ近くには水遊びができるスポットがあり、わが家の小さな自慢は、自宅からホタルが見られることです。

アーナ ジャーナ **Aana Jaana** ～漂流するカレー屋 現在“湯気”に漂着中～

無農薬の米や野菜を使ったカレーをはじめとする、本格派南インド料理が楽しめます。「おでんとお酒 湯気」の店舗内で営業中。

所在地 西沢町337-1 **駐車場** 10台

営業時間 月・火曜日、第2・4日曜日のみ営業

午前11時～午後4時 (ラストオーダー午後3時)

※「おでんとお酒 湯気」は金・土曜日の午後6時～10時まで。

Instagram▶



バナナリーフプレート1,200円

新春あいさつ

2019年を振り返って

移住

決算

財政状況・
活動報告

民生委員

海外交流・
アイドル

市民のひろば

フラッシュ

健康

お知らせ

いちご市の本棚